

1 決算統計の概要

(1) 普通会計の純計に関する調

(単位:千円)

会 計 名	決 算 額		普通会計間の繰入・繰出状況	
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出
一 般 会 計	15,166,560	14,415,554		197,055
	374,170	359,148	197,055	
合 計	15,540,730	14,774,702	197,055	197,055
普通会計純計	14,626,678	13,860,651		

- (注) 1 繰入・繰出の記入については、金額の下に括弧書きで、各々の繰入元・繰出先の会計名を付記してください。
 2 会計名の一般会計の下欄には、普通会計に属する特別会計を記入してください。
 3 令和4年度当初予算の議案の目次のコピー(特別会計の名称がわかる部分)を添付してください。
 4 令和4年度決算書(案)の普通会計に属する会計毎の「実質収支に関する調」のコピーを添付してください。

普通会計の純計算出に当たり行ったその他の調整は、下欄に記入してください。

(該当のないときは、斜線を引いてください。)

○規模控除 山梨県後期高齢者医療広域連合に係る委託料(補助事業)等 16,745千円
○普通会計外 中央病院独法かによる移行前元利償還金と病院からの負担金及び借換債 700,252千円

(2) 市町村の事業会計等の調

(該当する項目の下欄に○印を付してください。)

財産区を有する市町村	市町村の事業会計								
	収益事業会計	国民健康保険事業		介護保険事業		後期高齢者医療事業会計	農業共済事業会計	交通災害共済事業会計 直営方式のみ	公立大学附属病院事業会計
		事業勘定	直診勘定	保険事業勘定	サービス事業勘定				
○		○		○	○	○			

(3) 一部事務組合が共同処理する事務の内訳 (一部事務組合のみ記入)

主たる事務	その他の事務

団体名	大月市
-----	-----

2 実質収支が赤字の団体に関する調

(単位:千円)

団体名	実質収支額			合併等による 打ち切り決算	実質収支が赤字と なった年度	実質収支が赤字となった主な要因
	令和5年度 a	令和4年度 b	差引 (a-b)			
大月市	717,627	609,903	107,724			

- (注) 1 「合併等による打ち切り決算」の欄には、合併等による打ち切り決算を行った団体のみ「○」を計上して下さい。
- 2 「実質収支が赤字となった年度」欄には過去10年間(H26～)で実質収支が赤字となっていた年度を記入してください。(例: H25、H26～H29)ただし、合併前の年度については記入不要です。
- 3 実質収支が赤字となった主な要因に関しては出来るだけ詳細に記述してください。

団体名	大月市
-----	-----

3-1 令和5年度決算の特徴

(1) 収支

(単位:千円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支	単年度収支	実質単年度収支
令和5年度	14,626,678	13,860,651	766,027	48,400	717,627	107,724	△ 221,746
令和4年度	14,232,253	13,540,287	691,966	82,063	609,903	120,775	405,233

(特徴点・理由)

○税収では、固定資産税において大規模償却資産の減価による影響で、例年80,000千円程度の減収が見込まれているが、前年より増であったことはプラス材料であった。

○各種事業の執行の抑制等により、実質収支は出たものの、財政調整基金への積増し、取崩しの抑制をしなかったため、実質単年度収支はマイナスとなった。

(問題点・改正点)

○歳入では、固定資産税(大型償却資産)の減少による、市税の減少が見込まれる。また、人口減少に伴い基準財政収入額以上に基準財政需要額の減少も見込まれ、普通交付税を含む一般財源の確保が年々困難となっており、経常収支比率にも影響がでている。そのため、市税等の滞納対策や土地開発公社から引き継いだ資産等の有効活用や処分を行い、財源確保に努めることが急務である。

○歳出については、市営火葬場など老朽化した公共施設更新が急務であり、25年度に起債した三セク債(土地開発公社の解散に伴う起債)により増加した公債費、年々負担の大きくなる社会保障関係経費、病院・水道企業団・広域事務組合(ごみ処理)・下水道などの一組・他会計への繰出・補助などを見極めながら、上記主要事業にかかる財源確保に努め、財政健全化を図っていかねばならない。

(2) 主な財政分析指標

	令和5年度	令和4年度	要因等(具体的に入力して下さい)
経常収支比率	(92.9) 92.1	(91.5) 89.6	【分母】 ○経常一般財源収入は、地方税の増により0.2%増加した。
うち人件費	(25.8) 25.6	(25.9) 25.4	【分子】 ○人件費 定年退職者のない年度につき、経常一財比で4,775千円(△0.3%)減少した。
うち物件費	(12.7) 12.6	(12.3) 12.0	○物件費 委託料等の増により、経常一財比で35,434千円(+3.7%)増加した。
うち扶助費	(6.3) 6.2	(5.6) 5.4	○公債費 償還元利金の減により、経常一財比で0.5%減少した。
うち補助費等	(12.9) 12.8	(12.6) 12.3	○維持補修費 最小限の維持補修費により、経常一財比で5,962千円(△11.6%)減少した。
うち公債費	(19.3) 19.1	(19.4) 19.1	○扶助費 障害者福祉サービス費や児童手当給付事業等全体的に増となり、経常一財比で、58,560千円(+13.6%)増加した。
財政力指数	0.60	0.61	○補助費等 大月市立中央病院への負担金が増となり、経常一財比で26,755千円(△4.9%)増加した。
			●分子、分母ともに、一般財源額が増加した。分母はほぼ横ばいであるが、分子の増が大きいことや、臨時財政対策債の減少により経常収支比率は、前年比で2.5%分増加した。

(注)1 経常収支比率は、14表の数値を転記して下さい。財政力指数は、00表01行10列の数値を記入して下さい。

2 経常収支比率欄の()内は、減収補てん債及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた比率になります。

3 「指標の増減の主な要因」については、経常収支比率が90.0%以上の団体、又は、前年度比3.0%以上の増減があった団体は必ず記入して下さい。

団体名	大月市
-----	-----

3-2 令和5年度決算の特徴

(3)-1 歳入の状況

(単位:千円、%)

	令和5年度				令和4年度				増減の要因
	決算額	構成比	増減額	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率	
地方税	4,338,368	29.7	25,572	0.6	4,312,796	30.3	△ 45,332	△ 1.0	固定資産税(現年)+45,348、市民税(給与特徴現年)+15,885、市民税(普徴現年)-22,132
地方譲与税	113,821	0.8	2,532	2.3	111,289	0.8	△ 3,951	△ 3.4	地方揮発油譲与税+532、自動車重量譲与税+2,000
各種交付金	686,726	4.7	1,402	0.2	685,324	4.8	△ 4,555	△ 0.3	株式等譲渡所得交付金+6,667、配当割交付金+2,587
うち地方消費税交付金	560,383	3.8	△ 10,349	△ 1.8	570,732	4.0	△ 11,945	△ 2.1	
うち法人事業税交付金	48,168	0.3	3,381	7.5	44,787	0.3	16,428	57.9	
地方特例交付金	12,694	0.1	1,695	15.4	10,999	0.1	△ 37,118	△ 77.1	
うち新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	2,999	0.0	2,246	298.3	753	0.0	△ 33,205	△ 97.8	
地方交付税	3,081,300	21.1	12,901	0.4	3,068,399	21.6	△ 65,859	△ 2.1	普通交付税-11,573、特別交付税+24,474
分担金・負担金	128,616	0.9	△ 34,656	△ 21.2	163,272	1.1	20,326	14.2	小管出張所負担金-20,933、丹波山出張所-19,076
使用料・手数料	300,255	2.1	△ 25,024	△ 7.7	325,279	2.3	△ 16,991	△ 5.0	授業料-15,610、入学金-5,538
国庫支出金	2,261,321	15.5	228,027	11.2	2,033,294	14.3	11,064	0.5	社会資本整備総合交付金(住宅)+546,049
うち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	150,326	1.0	△ 156,306	△ 51.0	306,632	2.2	76,152	33.0	
うち子育て世帯臨時特別給付金及び生活支援特別給付金	18,609	0.1	△ 3,651	△ 16.4	22,260	0.2	△ 228,522	△ 91.1	
都道府県支出金	685,420	4.7	△ 147,287	△ 17.7	832,707	5.9	206,221	32.9	生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業費補助金-46,811、山梨県認定こども園整備事業費補助金-76,900
寄附金	667,749	4.6	245,207	58.0	422,542	3.0	△ 147,197	△ 25.8	ふるさと大月応援寄附金+245,358
繰入金	879,204	6.0	221,974	33.8	657,230	4.6	△ 63,267	△ 8.8	財政調整基金+331,718、公共施設整備基金+94,900
繰越金	691,966	4.7	165,576	31.5	526,390	3.7	△ 8,315	△ 1.6	
地方債	521,300	3.6	△ 367,500	△ 41.3	888,800	6.2	59,700	7.2	病院事業債-113,000、一般補助施設整備等事業債-109,700
うち臨時財政対策債	67,500	0.5	△ 94,500	△ 58.3	162,000	1.1	△ 274,800	△ 62.9	
その他	257,938	1.8	64,006	33.0	193,932	1.4	△ 137,330	△ 41.5	行政協力金+4,719
うち諸収入中貸付金元利収入	45,129	0.3	40,413	856.9	4,716	0.0	76	1.6	中央病院への転賃債償還分
歳入合計	14,626,678	100.0	394,425	2.8	14,232,253	100.0	△ 230,358	△ 1.6	
うち一般財源	8,232,909	56.3	44,102	0.5	8,188,807	57.5	△ 154,569	△ 1.9	

(特徴点・理由)

- 地方税…固定資産税の内、大型償却資産の減耗による影響が、他の資産の増加により相殺された。法人市民税は、大口納税法人の業績低迷により減少。
- 分担金・負担金…消防費負担金増は、消防・防災施設(高規格救急車)整備費充当の分が減となった影響が大きい。
- 国庫支出金…駒橋住宅整備事業にかかる補助金の影響が大きい。
- 都道府県支出金…生活困窮世帯緊急生活支援金給付事業費補助金、山梨県認定こども園整備事業費補助金の皆減によるもの。
- 寄付金…ふるさと納税寄附金、企業版ふるさと納税が昨年度に比べ上昇した。

- (注)1 「各種交付金」には、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、特別地方消費税交付金、自動車取得税交付金、自動車税環境性能割交付金及び法人事業税交付金の合計額を計上してください。
- 2 「国庫支出金」には、交通安全対策特別交付金は含まず、国有提供施設等所在市町村助成交付金を含めた額を計上してください。
- 3 「うち一般財源」には、地方税、各種交付金(注1参照)、地方譲与税、地方特例交付金等及び地方交付税の合計額を計上してください。
- 4 「増減の要因」には、国庫支出金にあっては増減した国庫支出金名とその増減額、繰入金にあっては繰入の相手先と繰入額、地方債にあっては増減した起債の名称とその増減額を記入してください。
- 5 「特徴点・理由」は、構造的なもの、単年度限りのものも含めて記入してください。

団体名	大月市
-----	-----

3-2 令和5年度決算の特徴

(3)-2 歳入の状況【うち復旧・復興事業分】

(単位:千円、%)

	令和5年度				令和4年度				増減の要因
	決算額	構成比	増減額	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率	
一般財源等									
うち震災復興特別交付税									
国庫支出金									
うち普通建設事業費支出金									
うち災害復旧事業費支出金									
うち東日本大震災復興交付金									
地方債									
その他									
うち繰入金									
歳入合計									

(特徴点・理由)

- (注) 1 決算額は、調査表41表該当個所に記入した数値を記入してください。
- 2 「増減の要因」には、国庫支出金にあっては増減した国庫支出金名とその増減額、繰入金にあっては繰入の相手先と繰入額、地方債にあっては増減した起債の名称とその増減額を記入してください。
- 3 「特徴点・理由」は、構造的なもの、単年度限りのものも含めて記入してください。

団体名	大月市
-----	-----

3-3 令和5年度決算の特徴

(4)-1 目的別歳出の状況

(単位:千円、%)

区分	令和5年度				令和4年度				増減の要因
	決算額	構成比	増減額	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率	
議会費	126,482	0.9	651	0.5	125,831	0.9	269	0.2	
総務費	2,589,686	18.7	152,972	6.3	2,436,714	18.0	△ 858,621	△ 26.1	積立金+217,210(ふるさと+245,355、公共+212,374、財調-282,210)
民生費	3,731,915	26.9	△ 186,750	△ 4.8	3,918,665	28.9	189,674	5.1	幼稚園・保育所(園)の再編整備事業(鳥沢地区)-274,360
衛生費	1,931,817	13.9	10,180	0.5	1,921,637	14.2	41,246	2.2	一般廃棄物収集運搬事業+97,807、大月都留広域事務組合負担金-80,586
労働費	15,018	0.1	△ 210	△ 1.4	15,228	0.1	258	1.7	
農林水産業費	236,317	1.7	△ 76,310	△ 24.4	312,627	2.3	89,745	40.3	林道改良事業-70,730、土地改良施設維持管理適正化-15,000
商工費	95,799	0.7	△ 102,753	△ 51.8	198,552	1.5	102,412	106.5	キャッシュレス決済還元事業-87,990、がんぼうろう大月事業復活応援金事業-57,014
土木費	1,617,070	11.7	494,936	44.1	1,122,134	8.3	234,536	26.4	市営住宅駒橋団地再整備事業+540,910
消防費	612,710	4.4	△ 43,751	△ 6.7	656,461	4.8	△ 100,737	△ 13.3	高規格救急車整備事業-76,252
教育費	1,331,453	9.6	36,170	2.8	1,295,283	9.6	△ 82,783	△ 6.0	公民館・分館建設事業+35,144
災害復旧費									
公債費	1,572,384	11.3	35,229	2.3	1,537,155	11.4	△ 11,933	△ 0.8	
その他									
歳出合計	13,860,651	100.0	320,364	2.4	13,540,287	100.0	△ 395,934	△ 2.8	

(特徴点・理由)

○総務費…基金積み立ての増により増加に転じた。 ○民生費…幼稚園・保育所(園)の再編整備事業(鳥沢地区)による増。 ○農林水産業費…主に林道改良事業の減。
○土木費…市営住宅駒橋団地再整備事業による増。 ○消防費…高規格救急車整備事業の減。 教育費…富浜公民館建設事業、コミュニティ助成金の増。

(注)1 「増減の要因」欄には、必要に応じて事業名を記入する等、具体的に記入してください。

2 「特徴点・理由」は、構造的なもの、単年度限りのものも含めて記入してください。

団体名	大月市
-----	-----

3-3 令和5年度決算の特徴

(4)-2 目的別歳出の状況(民生費の内訳) (単位:千円、%)

区分		令和5年度				令和4年度				増減の要因
		決算額	構成比	増減額	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率	
民生費		3,731,915	100.0	△ 186,750	△ 4.8	3,918,665	100.0	189,674	5.1	
社会福祉費		1,464,730	39.2	46,396	3.3	1,418,334	36.2	55,365	4.1	
性質別 内訳	扶助費	1,041,268	27.9	58,609	6.0	982,659	25.1	50,509	5.4	物価高騰対応重点支援金事業+176,190
	繰出金	207,452	5.6	△ 11,694	△ 5.3	219,146	5.6	17,325	8.6	国民健康保険特別会計繰出金-11,694
	その他	216,010	5.8	△ 519	△ 0.2	216,529	5.5	△ 12,469	△ 5.4	
老人福祉費		951,755	25.5	19,689	2.1	932,066	23.8	42,767	4.8	
性質別 内訳	扶助費	2,551	0.1	267	11.7	2,284	0.1	△ 153	△ 6.3	
	繰出金	842,532	22.6	13,229	1.6	829,303	21.2	14,241	1.7	
	その他	106,672	2.9	6,193	6.2	100,479	2.6	28,679	39.9	介護事業所価格高騰重点支援金事業+7,120
児童福祉費		985,312	26.4	△ 272,022	△ 21.6	1,257,334	32.1	91,477	7.8	
性質別 内訳	扶助費	751,077	20.1	40,034	5.6	711,043	18.1	△ 249,278	△ 26.0	
	その他	234,235	6.3	△ 312,056	△ 57.1	546,291	13.9	340,755	165.8	幼稚園・保育所(園)の再編整備推進事業-274,360
生活保護費		329,018	8.8	18,187	5.9	310,831	7.9	△ 35	△ 0.0	システム構築費+19,235
災害救助費		1,100	0.0	1,000	1000.0	100	0.0	100	皆増	

(特徴点・理由)

(注) 1 「増減の要因」欄には、必要に応じて事業名を記入する等、具体的に記入してください。
2 「特徴点・理由」は、構造的なもの、単年度限りのものも含めて記入してください。

3-3 令和5年度決算の特徴

(4)-3 目的別歳出の状況【うち復旧・復興事業分】

(単位:千円、%)

	令和5年度				令和4年度				増減の要因
	決算額	構成比	増減額	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率	
総務費									
民生費									
うち災害救助費									
衛生費									
労働費									
農林水産業費									
商工費									
土木費									
消防費									
教育費									
災害復旧費									
公債費									
その他									
歳出合計									

(特徴点・理由)

(注) 1 「増減の要因」欄には、必要に応じて事業名を記入する等、具体的に記入してください。

2 「特徴点・理由」は、構造的なもの、単年度限りのものも含めて記入してください。

団体名	大月市
-----	-----

3-4 令和5年度決算の特徴

(5)-1 性質別歳出の状況 (単位:千円、%)

	令和5年度				令和4年度				増減の要因
	決算額	構成比	増減額	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率	
義務的経費	6,027,706	43.5	52,267	0.9	5,975,439	44.1	△ 256,526	△ 4.1	
人件費	2,389,707	17.2	△ 63,660	△ 2.6	2,453,367	18.1	△ 35,796	△ 1.4	
うち職員給	1,566,344	11.3	131,230	9.1	1,435,114	10.6	△ 10,769	△ 0.7	
うち基本給	1,058,321	7.6	108,197	11.4	950,124	7.0	△ 12,544	△ 1.3	
うちその他手当	508,023	3.7	23,033	4.7	484,990	3.6	1,775	0.4	
うち退職金	65,795	0.5	△ 83,143	△ 55.8	148,938	1.1	△ 42,535	△ 22.2	定年退職者(5名→0)
扶助費	2,065,615	14.9	80,698	4.1	1,984,917	14.7	△ 208,797	△ 9.5	物価高騰対応重点支援+176,190、障害福祉サービス費+20,804、施設型給付費+22,638
公債費	1,572,384	11.3	35,229	2.3	1,537,155	11.4	△ 11,933	△ 0.8	元金+41,314、利息△6,085
投資的経費	1,259,629	9.1	81,308	6.9	1,178,321	8.7	312,043	36.0	
普通建設事業費	1,259,629	9.1	81,308	6.9	1,178,321	8.7	312,043	36.0	
うち補助事業費	951,789	6.9	96,744	11.3	855,045	6.3	504,669	144.0	市営住宅駒橋団地再整備事業+540,910、◆幼稚園・保育所(園)の再編整備推進事業-274,360
うち単独事業費	307,840	2.2	△ 15,436	△ 4.8	323,276	2.4	△ 192,626	△ 37.3	◆富浜公民館建設事業-45,490、◆高規格救急車整備事業-76,252
その他の経費	6,573,316	47.4	186,789	2.9	6,386,527	47.2	△ 451,451	△ 6.6	
うち物件費	1,866,050	13.5	△ 91,201	△ 4.7	1,957,251	14.5	83,321	4.4	システム・ネットワーク運用経費-95,447、企画一般(システム開発)-19,500
うち補助費等	1,720,752	12.4	46,479	2.8	1,674,273	12.4	10,313	0.6	大月市立中央病院運営事業費+118,071
うち積立金	1,096,156	7.9	217,210	24.7	878,946	6.5	△ 721,633	△ 45.1	ふるさと+245,355、公共+212,374、財調-282,210
うち貸付金	87,000	0.6	△ 113,000	△ 56.5	200,000	1.5	169,000	545.2	大月市立中央病院運営事業
うち繰出金	1,528,476	11.0	76,515	5.3	1,451,961	10.7	22,203	1.6	下水道特会+53,780、簡易水道特会+21,200、介護保険特会+28,408
歳出合計	13,860,651	100.0	320,364	2.4	13,540,287	100.0	△ 395,934	△ 2.8	

(特徴点・理由)

○総額は、主に扶助費、投資的経費及び積立金の増により、2.4%増となった。

○人件費は、給与改定による増額があったものの、主に定年退職者がいない年であったため、前年度と比較して2.6%減となった。

○扶助費は、主に物価高騰対応重点支援交付金に係る事業があったことにより4.1%の増となった。

○普通建設事業費については、補助事業費分として幼稚園・保育所(園)の再編整備(鳥沢地区)が終了したが、市営駒橋団地再整備事業の本体工事等のため19.4%の増となった。単独事業分としては富浜公民館建設事業及び高規格救急車整備事業の減等により-26.2%の減となったが、全体として前年度と比較して6.9%の増となった。

- (注)1 「うち補助事業費」には、受託事業費のうちの補助事業費を含めてください。
- 2 「うち単独事業費」には、同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含めてください。
- 3 普通建設事業費の「増減の要因」各欄には、具体的な事業名を記載のうえ、新規事業には◎印を、廃止・終了事業には◆印を付けてください。
- 4 「特徴点・理由」は、構造的なもの、単年度限りのものも含めて記入してください。

団体名	大月市
-----	-----

3-4 令和4年度決算の特徴

(5)-2 性質別歳出の状況【うち復旧・復興事業分】

(単位:千円、%)

	令和5年度				令和4年度				増減の要因
	決算額	構成比	増減額	増減率	決算額	構成比	増減額	増減率	
義務的経費									
人件費									
うち職員給									
扶助費									
公債費									
投資的経費									
普通建設事業費									
うち補助事業費									
うち単独事業費									
うち国直轄事業負担金									
災害復旧事業費									
うち補助事業費									
うち単独事業費									
その他の経費									
うち物件費									
うち補助費等									
うち積立金									
うち貸付金									
うち繰出金									
歳出合計									

(特徴点・理由)

(注)1 「うち補助事業費」には、受託事業費のうちの補助事業費を含めてください。

2 「うち単独事業費」には、同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含めてください。

3 投資的事業費には、失業対策事業費を含めてください。

4 普通建設事業費の「増減の要因」各欄には、具体的な事業名を記載のうえ、新規事業には◎印を、廃止・終了事業には◆印を付けてください。

5 「特徴点・理由」は、構造的なもの、単年度限りのものも含めて記入してください。

団体名	大月市
-----	-----

3-5 令和5年度決算の特徴

(6) 地方税の状況

(単位:百万円、%)

	令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	増減額	増減率	増減の要因
1 普通税	4,338	4,313	25	0.6	
(1) 法定普通税	4,338	4,313	25	0.6	
ア 市町村民税	1,182	1,194	△ 12	△ 1.0	
(ア) 個人分	1,044	1,047	△ 3	△ 0.3	
(イ) 法人分	138	147	△ 9	△ 6.1	大口納税法人の業績低迷
イ 固定資産税	2,926	2,886	40	1.4	大型償却資産の増
ウ 軽自動車税	92	92			
(ア) 環境性能割	6	7	△ 1	△ 14.3	
(イ) 種別割	86	85	1	1.2	
エ 市町村たばこ税	138	141	△ 3	△ 2.1	
オ 特別土地保有税					
キ その他					
(2) 法定外普通税					
2 目的税					
(1) 法定目的税					
ア 都市計画税					
イ 事業所税					
(2) 法定外目的税					
3 旧法による税					
地 方 税 合 計	4,338	4,313	25	0.6	
地方譲与税	114	111	3	2.7	
地方消費税交付金	560	571	△ 11	△ 1.9	

(注) 1 決算額は、調査表06表及び05表の該当個所に記入した数値を集計し、百万円単位に四捨五入して記入してください。

2 増減の要因については、具体的に簡潔に記入してください。

団体名	大月市
-----	-----

4 基金に関する調

基金の設置状況に関する調

(単位:千円)

	基金名称	R4末現在高	R5積立額	積立の理由	R5取崩額	取崩の理由	R5末現在高
積立基金	財政調整基金	1,557,854	2,248		331,718	予算計上分	1,228,384
	減債基金	273,090	55,126				328,216
	(その他特定目的基金)	2,795,862	1,038,782		546,980		3,287,664
	消防施設・設備等整備基金	85,140	15,693				100,833
	公共施設整備基金	1,251,901	328,240		94,900	大月駅周辺整備事業、地方道路整備事業 他	1,485,241
	地域振興基金	421,797	4,344		750	地域振興補助	425,391
	福祉社会対策基金	11,057	3	基金利息 3			11,060
	豊かな環境づくり基金	51,041	11	基金利息 11			51,052
	ふるさと水と土保全対策基金	10,123	1	基金利息 1			10,124
	短期大学教育施設整備基金	202,970	2,843	基金利息 他			205,813
	小林宏治育英奨学基金	4,032			479	奨学金給付事業	3,553
	明日をひらく人づくり基金	50,376	2	基金利息 2			50,378
	職員退職手当支給準備基金	137,732	11,603	負担金 6,600 他			149,335
	ふるさと大月応援基金	523,330	645,622	寄附金 645,607 他	418,605	災害対策事業、観光資源保全管理事業 他	750,347
	豊かな森づくり基金	46,363	30,420	森林環境譲与税 他	32,246	木材搬出推進及び森林更新助成事業、里山再	44,537
	合計	4,626,806	1,096,156		878,698		4,844,264
定額運用基金	土地開発基金	407,550	2				407,552
	(その他定額運用基金)	1,000					1,000
	印刷業務基金	1,000					1,000
	合計	407,550	2				408,552

- (注) 1 表には、すべての基金を記載して下さい。(行が足りない場合は、適宜追加して下さい。)
- 2 表中、「R4末現在高」は29表01行と、「R5積立額」は29表02行と、「R5取崩額」は29表03行と、「R5末現在高」は29表06行と一致します。
ただし、29表05行に数値の入力がある場合、「R5末現在高」は29表06行とは一致しません。
また、本表「R5積立額」には、歳計剰余金処分によるものを除いて入力して下さい。
- 3 その他特定目的基金の「積立の理由」欄には、それぞれの基金について、積立金の主な財源とその金額を記載して下さい。
- 4 その他特定目的基金の「取崩の理由」欄には、それぞれの基金について、主な充当先の事業名とその金額を記載して下さい。
- 5 基金を新設した場合は、「積立の理由」欄に上記注3に係る記載の外、新設した目的を記載して下さい。また、基金を解散した場合は、上記注4に係る記載の外、基金を解散した理由を記載して下さい。

団体名	大月市
-----	-----

6 繰越額等の状況

(単位:千円)

継続費通次繰越額			主な繰越事業(金額)とその理由
5年度	4年度	増減額	

(単位:千円)

繰越明許費繰越額			主な繰越事業(金額)とその理由
5年度	4年度	増減額	
318,431	551,353	△ 232,922	物価高騰対応重点支援金事業 86,097 戸籍住民基本台帳一般事業 15,269 農業水路等長寿命・防災減災事業 28,200 社会資本整備総合交付金事業 58,228 大月駅周辺基盤整備事業 28,260 猿橋駅周辺基盤整備事業 13,000 新庁舎建設事業 28,191 普通財産管理経費 1,881 地方道路等整備事業 3,400 里道・水路維持管理事業 3,740 農村地域防災減災事業 7,265 農業基盤整備促進事業 18,900 大月市立中央病院運営事業 26,000

(単位:千円)

事故繰越繰越額			主な繰越事業(金額)とその理由
5年度	4年度	増減額	
3,483	2,995	488	職員等一般管理費(弁護士委託料) 330 消防施設費(耐震性貯水槽撤去事業) 3,153

(単位:千円)

事業繰越額			主な繰越事業(金額)とその理由
5年度	4年度	増減額	

(単位:千円)

支払繰延額			主な繰越事業(金額)とその理由
5年度	4年度	増減額	

(単位:千円)

合 計		
5年度	4年度	増減額
321,914	554,348	△ 232,434

(注)1 「主な繰越事業(金額)とその理由」欄には具体的かつ明瞭に記載してください。

団体名	大月市
-----	-----

7 普通建設事業に関する調

(単位:千円)

事業名 (目的別 区分名)	決算額	補 助 事 業								単 独 事 業					
		決算額	補助基本額	財 源 内 訳						決算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	分担金等	その他特財	一般財源等		県支出金	地方債	分担金等	その他特財	一般財源等
1_総務費	24,720									24,720			6,500	18,020	200
2_民生費	33,600	33,600	33,600		33,600										
3_衛生費	8,158	7,378	7,378	3,057	2,459				1,862	780					780
5_農林水産費	29,879	22,799	22,799	5,048		15,697			2,054	7,080		203			6,877
6_商工費	25,481									25,481	8,880			16,148	453
7_土木費	942,085	888,012	888,012	733,607	325	112,950		17,847	23,283	54,073			950	21,352	31,771
8_消防費	37,558									37,558		32,400		4,598	560
9_教育費	89,003									89,003		60,700		28,303	
10_その他															
11_県営事業負担	69,145									69,145		52,700		10,380	6,065
合 計	1,259,629	951,789	951,789	741,712	36,384	128,647		17,847	27,199	307,840	8,880	146,003	7,450	98,801	46,706

- (注) 1 本調査は、普通建設事業費のうち、補助事業費及び単独事業費を調査するものです。
2 補助事業で国庫支出金の欄に記入する場合は、必ず補助率を()書きしてください。なお、定額補助の場合は(定額)と記入してください。
3 「分担金等」の欄には、分担金、負担金、寄附金を記入してください。
4 補助事業で、補助基本額が国庫支出金を補助率で割り戻した額と一致しない場合(補助事業の決算額と補助基本額が一致しない場合)はその理由を別紙に記入してください。
5 継ぎ足し単独事業については、当該補助事業と同じ行に入力して下さい。

団体名	大月市
-----	-----

8 物件費の内訳

(単位:千円)

項 目	5年度決算額	4年度決算額	増減額	増 減 理 由
1 賃金				
2 旅費	12,944	12,437	507	短大 教育推進事業+414、
3 交際費	422	282	140	市長+125、消防+24
4 需用費	339,674	333,060	6,614	教科書改訂+17,942、観光PR事業+1,853、
5 役務費	85,469	92,689	△ 7,220	選挙(参議院、知事)-2,813、認証評価事業-
6 備品購入費	60,021	121,374	△ 61,353	システムネットワーク運用経費-56,410、
7 委託料	1,196,144	1,222,170	△ 26,026	キャッシュレス決済還元事業-86,807
8 その他	171,376	175,239	△ 3,863	新型コロナウイルスワクチン接種-7,963
合 計	1,866,050	1,957,251	△ 91,201	

(注)「増減理由」欄には、必要に応じて事業名を記入する等、具体的に記入してください。

9 繰上償還及び借換えの状況

(1) 補償金免除繰上償還実施額

(単位:千円)

補償金免除 繰上償還 実施額	実施額			
		借換え(A)	償還のみ(B)	その他
	(その他の方法)			

(注)1 補償金免除繰上償還実施額とは、補償金免除繰上償還に際し、その対象額として認められた額のうち、実際に繰上償還を実施した額を記入してください。

2 その他の方法には、借換や償還のみによらない方法で繰上償還を実施した場合、その具体的な手段を明記してください。

(2) (1)以外の繰上償還及び借換の状況

(単位:千円)

繰上償還	繰上償還額(C)	起債名称	繰上償還の理由
借換え	借換額(D)	起債名称	借換の理由
	572,500	第三セクター等改革推進債	第三セクター債の借り換えに伴う元金償還

(注)令和4年度決算額のうち、繰上償還及び借換えに係る分について、金額、起債名称及びその理由を記入してください。

(3) 繰上償還額及び借換額の総額

(単位:千円)

繰上償還額 (B)+(C)	借換額 (A)+(D)
	572,500

団体名	大月市
-----	-----

10 元利償還金に関する調

(単位:千円)

地方債名		元利償還額	左に充当された 特定財源の内訳	一般財源等
公営住宅建設事業		24,291	公営住宅使用料 24,290	1
その他		285,564	病院貸付分 45,129	240,435
		1,262,529		1,262,529
計 A		1,572,384		1,502,965
うち繰上償還額	公営企業債に係るもの B			
	転貸債に係るもの C			
	公共用地先行取得債に係るもの D			
	任意に行ったもの E			
	その他 F			
	計(B～F)			
公営企業債償還額(繰上償還分を含む) G				
転貸債償還額(繰上償還分を含む) H				
A-(B+D+E+F+H)		1,572,384		1,502,965
A-(C+D+E+F+G)		1,572,384		1,502,965

(注) 1 「特定財源の内訳」欄は、なるべく具体的に記載してください。
(例:臨時地方道整備事業債元利補給金 ○○○千円)

団体名	大月市
-----	-----